



FileMaker と Microsoft Access:

特定の評価基準による製品比較

ご自分のニーズに最も合うデータベースはどれかをご検討中ですか?あるいは、Microsoft® Access と FileMaker® ソフトウェアとの違いはなんだろうかと考えたことがおありですか? 下記は、サードパーティの批評家がデータベース製品を評価するときに使用する評価基準による製品比較です。これをご覧になれば、なぜ FileMaker が世界の代表的な“使いやすい”データベースで、専門家から贈られる数々の賞を受賞しているのか、おわかりいただけるでしょう。

評価基準	FileMaker	Microsoft Access
使い始めるときの簡単さ	覚えるのが簡単 30種類の基本的なデータベースのテンプレートと直感的でグラフィカルなインターフェースのおかげで、初めての方もすぐに使い始めることができます。	データベースの経験が必要 ユーザインターフェースがより難解で、ビルトインのデータベース表示形式がないため、初めての方にとって学習曲線の初期値が高くなります。
情報の検索や閲覧の簡単さ	自動的に表示形式を作成 すべての情報に、テーブル、リスト、フォームが自動的に作られます。データベースのレコードに関連付けられた Web ページをライブで閲覧できます。データが変更されると Web ページも更新されます。	手動で表示形式を作成 情報を閲覧するときの表示形式を手動で作成しなくてはなりません。データの検索には、クエリのシステムに精通した知識が必要です。
スクリプトやプログラムの作成	選んでクリックするだけでスクリプトを作成 130を超えるスクリプトステップから選んでクリックするだけのスクリプト言語のおかげで、どんなタスクも簡単に自動化できます。プログラミングの専門知識は不要です。	プログラミングの知識が必要 データベースのタスクのいくつかは 56 のマクロから選択して実行することもできますが、多くのソリューションでは、もっと複雑なプログラミング言語である Visual Basic を使用する必要があります。
カスタマイズ	カスタマイズが簡単 フィールド、レイアウト、レポート、メニュー*の変更が、ツールバーからわずか数クリックで簡単にできます。	カスタマイズには高いレベルの経験/知識が必要 多くの選択肢やクリック経路があるので、使いこなすには事前の経験が必要です。広範囲にわたるカスタマイズには Visual Basic の知識が要求されます。
レポートニング	ドラッグ&ドロップでレポートニング ドラッグ&ドロップで使えるレポートニングツールが、さまざまなカスタムレポートの作成に役立ちます。ビルトインの PDF Maker を使えば、Adobe® PDF ファイルを作成したり共有したりできます。	手動でデザインするインターフェース 簡単なレポートならウィザードで作れますが、変更するには上級者向けのデザイン・インターフェースを使わなければなりません。PDF を生成する機能はアドインしない限りありません。
データベースの容量	8 テラバイトの容量 ひとつのデータベースあたりの容量制限は、8 テラバイトです。**フィールドには、2GB のデータを格納することができます。	2 ギガバイトの容量 ひとつのデータベースあたりの容量制限は、2GB です。テキストフィールドは 255 文字、複数行フィールドは 65,535 文字を格納できます。
スケーラビリティ (拡張性)	個人から大規模なワークグループまでサポート FileMaker Pro は最大 9 の同時接続クライアントをサポートします。FileMaker Server Advanced を追加すれば、何百もの FileMaker Pro クライアントが同時接続できます。***	小規模なワークグループをサポート 20 以上のユーザがいると、最適なパフォーマンスを得られません。Access サーバーはありません。
Web公開	完全なソリューションを Web 上で共有 FileMaker Pro を使って、データベース・ソリューション全体を、ワンクリックで Web に公開できます。追加のソフトウェアは必要ありません。ビルトインのセキュリティ機能で、ユーザに読み込み/書き込みのフルアクセス権を許可した共有が可能です。	コンポーネントのソリューションを共有 Web 上で共有できるのは、個々のフォームやレポートで、データベース全体は共有できません。ファイルを共有するには、Microsoft Office をインストールしておく必要があります。
セキュリティ	フィールドレベルのアクセス権限 柔軟なセキュリティ設定が可能なので、データベース全体、またはデータベース内の特定のレイアウトやフィールド単位で、ユーザのアクセス制限をおこなえます。	データベースレベルのアクセス権限 データベース単位でのアクセス制限しかできません。より細部にわたるセキュリティはサポートされていません。
プラットフォーム	Windows と Mac の両方で使える Windows と Mac 両方のプラットフォームでデータベースを共有できます。	Windows 上でしか使えない Windows でのみ動作します。

これは、FileMaker 11 と Microsoft Access 2007 をもとにした製品比較です。

*メニューのカスタマイズは、FileMaker Pro 11 Advanced でご利用できます。

** 容量は、FileMaker アーキテクチャで課された限度を表しています。実際の使用限度は、ディスクスペースや RAM、OS のリソース制限など、他の要素によって変動します。

*** FileMaker Server 11 Advanced テクノロジーでは、FileMaker Pro クライアントの数が無制限になりました。ハードウェアとオペレーティングシステムによってのみ、技術的な限界が決まります。